

LINCOCIN®
sterile solutionLINCOCIN®
sterile solution

zoetis

動物用医薬品

抗生物質注射剤

動物用リンコシン®注射液 100mg

動物用リンコシン®注射液 300mg

Veterinary LINCOCIN® sterile solution

日本標準商品分類番号
8 7 9 7 6 1 4

本剤は米国アップジョン社(現ゾエティス社)において開発された抗生物質、リンコマイシン塩酸塩水和物の注射剤である。
リンコマイシン塩酸塩水和物は、1965年我が国の獣医師界に紹介されて以来、グラム陽性菌感染症および嫌気性菌感染症の第一選択剤として、有効性、安全性の面で高い有用性が認められ広く使用されている。
獣医畜産界においては1976年に小動物用の注射剤として、その後1983年には飼料添加剤とともに注射剤が豚赤痢に、さらに1990年には豚マヨコプラズマ性肺炎に対しての適応が認められるに至っている。

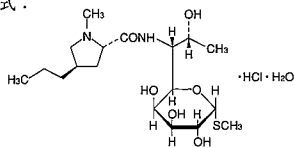
〔組成・性状〕

動物用リンコシン注射液は無色澄明な注射液で、pHは3.0～5.5である。
動物用リンコシン注射液には以下の2つの剤型がある。

販売名	成分・分量
動物用リンコシン注射液100mg	1mL中リンコマイシン塩酸塩水和物100mg(力価)
動物用リンコシン注射液300mg	1mL中リンコマイシン塩酸塩水和物300mg(力価)

■リンコマイシン塩酸塩水和物
一般名：リンコマイシン塩酸塩水和物 Lincomycin hydrochloride
化学名：Methyl 6,8-dideoxy-6-[(2S,4R)-1-methyl-4-propylpyrrolidine-2-carboxamido]-1-thio-D-erythro- α -D-galacto-octopyranoside monohydrochloride monohydrate

構造式：



分子式：C₁₈H₃₄N₂O₆S・HCl・H₂O
分子量：461.01

白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味は苦い。
水に極めて溶けやすく、メタノール又はエタノールに溶けやすい。

〔特長〕

- 他の抗生物質の系統に属さないリンコマイシン系抗生物質である。
- 耐性菌が出来にくく、他の抗生物質との交叉耐性はほとんど認められない。
- 安定性が高い。
- 吸収、排泄が速く畜産物における残留性が少ない。

〔急性毒性：LD₅₀値〕

	mg/kg							
	経口投与		皮下注射		筋肉内注射		静脈内注射	
	雄	雌	雄	雌	雄	雌	雄	雌
マウスddN系	>5,000	>5,000	>5,000	>5,000	>5,000	>5,000	156.3	160.6
ラットSD系	>5,000	>5,000	>5,000	>5,000	>5,000	>5,000	164.2	201.4

〔安全性〕

SPF去勢豚に本剤の臨床最高投与量およびその5倍相当量である10および50mg(力価)/kgを4日間連続筋肉内投与し一般臨床症状、臨床生化学的ならびに病理学的検査を行ったところ本剤によると思われる影響は認められなかった。

また、犬および猫において臨床最高投与量およびその5倍相当量である20および100mg(力価)/kgを4～7日間連続筋肉内投与しても、各種検査所見において特に異常は認められなかった。

〔効能・効果〕

有効菌種

豚：本剤感性のブラキスピラ・ハイオディセンテリー、マイコプラズマ・ハイオニューモニエ
犬・猫：リンコマイシン感受性菌

適応症

豚：豚赤痢、豚マイコプラズマ性肺炎
犬・猫：呼吸器感染症、消化器感染症、膿瘍、蜂窩織炎、外耳炎、術後の感染防止

〔用法・用量〕

豚：豚赤痢
1日1回体重1kg当たりリンコマイシンとして5～10mg(力価)を1～3日間筋肉内注射する。
豚マイコプラズマ性肺炎
1日1回体重1kg当たりリンコマイシンとして5～10mg(力価)を3日間筋肉内注射する。
犬・猫：体重1kg当たりリンコマイシンとして20mg(力価)を1日1回、又は10mg(力価)を12時間ごとに筋肉内注射する。

〔使用上の注意〕

〔一般の注意〕

- (1)本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
- (2)本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- (3)本剤は定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であってもそれを反復する投与は避けること。
- (4)本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めること。
- (5)本剤を豚に投与する場合は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

〔使用者に対する注意〕

誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

〔対象動物に対する注意〕

1.制限事項

(1)本剤の投与によると思われる副作用もしくは過敏症状があらわれた場合には投与を中止すること。

(2)カンジダ感染症には使用しない。

2.副作用

- (1)副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- (2)本剤の筋肉内注射により、まれに一時的な軟便がみられるとの報告がある。

3.適用上の注意

注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。

〔取扱い上の注意〕

- (1)使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (2)本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (3)使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

〔保管上の注意〕

小児の手の届かないところに保管すること。

注意一獣医師等の処方せん・指示により使用すること。

注意一使用基準の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は薬事法第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた医薬品ですので、使用対象動物(豚)についての用法及び用量並びに使用禁止期間を遵守して下さい。

使用対象動物	使用禁止期間
豚	食用に供するために殺する前4日間

〔貯蔵方法〕

室温保存

〔有効期間〕

製造後4年間

〔包装〕

100mg(力価)/mL	20mL×5バイアル
100mg(力価)/mL	100mL×1バイアル
300mg(力価)/mL	100mL×1バイアル

本剤に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

ゾエティス・ジャパン株式会社
〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-22-7
TEL：0120-334602 FAX：0120-554417

製造販売(輸入)
ゾエティス・ジャパン株式会社
〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-22-7

改訂
2013.1

PAA036639
2001